



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第33号

イラスト © あべまりあ

発行所
天使のほほえみ
発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

理事長挨拶

「安民法制」は日本の安全保障の要 安倍政権を応援しよう

理事長 鎌田久子



日本の将来を考えた時、第一にやらなければならない事は憲法改正です。私共が求める現憲法廃棄・明治憲法復元改正をするか、明治憲法に並ぶ立派な自主憲法の制定かとなりますが、後者は膨大な時間と労力がかかり、しかも漠とした国民投票を通しますのではたして真に素晴らしいものになるか大きな疑念が生じます。

やはり前者が法理念に則って、迅速で、日本の国体を余すところなく伝えたものになると思いま

す。いずれにしろ神代の時代からのわが国の歴史・伝統・文化を正しく受け継げるものにし、中心帰一・すべてに調和する、日本人が真の誠を生きられる憲法にすることが肝要であり、一君万民、天皇・国民・国家が一体となる生命体国家に戻せる憲法を切に望んでおります。
現在、美しい日本の憲法をつくる国民の会の「憲法改正を求める1000万人署名」を、「天使のほほえみ」でも協力していこうと決意し、既に全国から多数の署名が

集まっています。本当に有り難うございませう。感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

そして私達の「天使のほほえみ」の使命として、生命尊重の実現があります。

日本人の人口矮小化を目的に、GHQが強制した母体(優生)保護法は、生命抹殺容認法、女性の産まない権利実現の基本法となつています。現在の日本の少子化は、この母体保護法を戦後日本人が洗脳されたまま改正せず、GHQの思惑通りに弱体化が進んできてしまった結果と考えます。

母体保護法の「経済的理由」を削除し、全ての胎児が晴れて誕生でき、日本をよりよく進化する使命を果たしてくれ、天皇国日本が永続しますよう、これも署名活動を始めています。多数の署名が集まっています。ご協力ありがとうございます。
支那の暴発、南北朝鮮の威嚇等、我が国を取り巻く安全保障環境が激変している今、安倍首相が懸命に安民法制を進めていらっしゃる事に深く感謝しております。

現憲法下でギリギリ枠内の集団的自衛権行使を基本とした安民法制は、必ず制定されるべきものです。神国日本の防衛のため、安倍首相を力一杯応援していきたいと思っております。

また公開されていた平成28年度中家庭教科書を調べましたら、高校教科書のような「独身のすすめ」こそありませんでしたが、明らかな「家族破壊」の意図のある教科書になっており、大変驚き、子供達への影響を心配しております。中・高家庭教科書共に糾して頂くべく、運動して参りたいと思っております。皆様、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

総会・記念研修会 // 報告 //

平成二十七年年度の天使のほほえみ総会、記念研修会が左記の通り開催されました。多くの方の参加を下さいました。

日時 5月24日(日)
総会 13:00 ~ 13:20
研修会 14:00 ~ 16:30
場所 代々木
国立オリンピック記念
青少年総合センター

総会 昨年度報告

今年度計画

その他

総会は議案の通り承認され、今年度の活動が開始されました。

研修会

主講師 岡田幹彦先生

日本政策研究センター
主任研究員

副講師 鎌田久子理事長

テーマ

「人のいのち 国のいのち」

— 世界に輝く日本文化 —

岡田先生、鎌田理事長には、テーマにつき深く熱く語って頂きました。この研修会での講演の内容は、次頁以降に掲載致します。

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 2千円以上
賛助会員 5千円以上
篤志会員 1万円以上
法人 一口 5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

「人のいのち 国のいのち」

— 世界に輝く日本文明 —

岡田幹彦 先生 日本政策研究センター主任研究員

平成27年5月24日 ご講演 文責 野田滋美

生命尊重推進の会「天使のほほえみ」が十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

今日時代は大きく移り変わろうとしています。一言で言いますと、「文明大転換」の時代です。「今まで数百年、世界を支配して来た西洋文明が大きく衰退凋落し、それに代わって日本文明が指導的文明になる。」というお話をします。

【ハンチントン氏の「文明の衝突」】

アメリカの国際政治学者故ハンチントンが、少し前に「文明の衝突」という本を書き、世界的なベストセラーになりました。

「世界には、八つの文明があるが、来る21世紀はその内の六つが衝突を繰り返す。

一つ目は西洋文明、キリスト教。二つ目はロシア文明、ロシア東方正教。三つ目はイスラム文明。四つ目がインド文明、ヒンズー教。五つ目がシナ文明。六つ目が日本文明」

残りは中南米の文明とアフリカ文明。この二つは余力が無い。だから先の六つが対立抗争するだろうと言うのです。

西洋文明が衰退すると言うだけで、その次どが中心になるかは言及していません。

彼は日本文明はシナ文明の子分でなく、インド文明とも違う。「二国一文明」と述べています。

【日本文明が世界の指導文明に】

私が言いたいのは、この六つの文明の対立抗争の後にどうなるか。それは「日本文明が世界の指導文明になる。」という事です。

鈴木孝夫慶大名書教は「日本の感性が世界を変える」と主張しています。「16世紀に始まる大航海時代から今まで、世界はあるゆる意味で、西洋文明が主導する時代だったが、今まさに終わりを告げようとしている。そしてその後どうなるか。この小さな孤立した異質の日本文明

に交代せざるを得ない劇的局面を人類が今迎えている」と。

日本では今までこんな大それた事を言う人が袋叩きに会うので、学者は中々言えませんでしたが。ようやく言える世の中になってきたのですね。

【東日本大震災 世界の劇的転換】

さてこの世界の文明の劇的転換を示す象徴的イベントが四年前の東日本大震災だったと私は思います。資料に「比類なき日本人の国民性をまとめました。あの時、世界が絶賛したのです。わが同胞、東北人の振舞いに。

私は当時、新聞雑誌の記事を丹念に調べました。その切り抜きはかなりの量になりました。

日本に同情して、世界のほとんど全部の国から大変な援助・声援を頂きました。

【台湾の方の援助 世界一】

一番多いのは台湾。200億と言われていますが、実際は250億円です。私が台湾に講演に行った時、200億円の感謝をした所、「先生それは違う。250億円ですよ。赤十字などを通さずに個人的に送った人が一杯います。額はともかく、ほとんど全国民が送ったんです」。すごいでしょう。

単なる親日ではなく、愛日です。その台湾人の感想が素晴らし。今回の震災で、人の為に吾が身を捧げるような日本人の善良さ、美しき面がより顕著に出た。

遠藤未希さんという南三陸町の職員を始めとする方々の事です。

その年の台湾のマスコミのアンケートで、「あなたの2011年の最高に幸せな出来事は？」の第一位は「日本への献金が世界で一番になった事。」有り難いですね。台湾の国と人々を大事にしなくてはなりませんね。

【米国人の賛辞】

米国人の言葉。「日本人がこの大災禍に略奪や暴動を起さず、冷静さを保ち対応した事は、全てのマスコミ・評論家を感嘆させた。」

アメリカの一シンクタンクの教授の言葉。「今回の事で日本文化の深さを痛感させられた。日本の文化や伝統も占領政策でかなり変えられたのではと思っていたが、文化の核の部分は決して変わっていませんでした」

日本はアメリカに7年間占領政策を受け、メチャクチャにされた。その影響で今も日本には忌まわしい事件が起こります。だからアメリカは日本人の骨抜きし、日本人の価値観を変える事に成功したと

思っていたが、変わっていないかとガツクリきているんですよ。

国民性は50年や100年では変わらないという事です。しかし、占領政策は物凄い勢いで行われた。その荒唐の象徴がこの「母体保護法」。日本は今だに大変な問題を抱えています。日本は枝葉は枯れました。しかし縄文以来の根と幹は完全には枯れなかった。

【日本の世界一 50】

では何故かくの如く立派な国民性を生み出したのか、これが今日の本題です。「世界に冠絶する歴史・伝統・文化・文明を持つ神の国」。こういう事は戦後は言えなかつた。こんな事を言おうものなら朝目を始めとする左翼マスコミが噛みつきます。しかし、日本は神の国ではなくて何ですか？金の国ですか？金の国は拝金主義の支那・アメリカです。

日本を日本たらしめているものは皇室を始め沢山あります。私はこの資料で世界一を50挙げてみました。細かい技術的なものを挙げたら200や300と幾らでもあります。



世界一のもものが50も100もある国が日本以外ありますか。

【万世二系の天皇國日本】

どんな民族にも、ほかにはない個性・特性がある。では日本を日本たらしめている最大の特性は何かと言つと「世界最古最長の王朝・万世二系の天皇を戴く神國日本」です。

世界で王朝を戴く国は27ほどあります。日本に次いで古いのはデンマーク。千年ちよつとです。しかしデンマークの今の王朝は1863年からで、幾度も交代しています。

二番目はイギリスで九百数十年。しかし、清教徒革命でクロムウェルが国王を殺して、共和制を敷いた。王制が一度断絶しています。

後は皆、成り上がり王朝、でつち上げ王朝、革命王朝が大半です。

我が皇室こそ、最長の最も尊貴な生きた世界遺産なのです。天皇を戴く日本国体、この事の有り難さ、これを戦後の社会と学校教育が教えてこなかった。学校教育の根本に、これを生命尊重と共に入れなくてはなりません。「自由・民主主義・人権・平

等」こんな事ばかり言つていては「自己中」になります。「人権」と言いながら周りの人の生命を簡単に殺める。神様から頂いた生命を尊重する。この根本が教えられていないからです。

【震災直後の両陛下の「訪問】

皇室を戴く日本の国柄はどんなに価値があるものなのか。竹田恒泰さんの「日本人の原点がわかる国体の授業」(PHP)の本の中の話です。

天皇皇后両陛下が震災後すぐに被災地に行かれました。そこに竹田さんも後で行かれて、被災者の方に問いかけました。「そういう先週ここに両陛下が来られましたね。」するとそこにいた婦人が「そうなんです」と答えて、とたんに泣き出した。「思い出しただけでも涙が止まらなくて。」周りの女性たちも皆が泣き始めた。「いったいどんな様子だったのですか」と聞くと「陛下のお姿を見たときに皆が泣き始めた」と言うのです。まだお声を掛けられない内に。

その婦人は家族みんな失った。絶望のドン底です。生きる元気なんか湧いて来ない。後を追つて死にたい。なぜ自分だけが生き残ってしまったのか。ど

うやつて死のうか。毎日毎日考えていた。でも天皇陛下のお姿を見たときに、涙がぼろぼろ流れ、初めて生きる望みが湧いてきたと言つたのです。そして一人一人丁寧親切に語り掛けられるお姿を見て、「自分達の事を本当に心配してくる人がいる事が分り、もう少し頑張れると思つた。」と言つた。

そこで「普段から陛下を尊敬なさつていたのでですか」と聞くと、「どちらかと言つと、天皇なんか要らないと思つていた」。ご皇室の存在の有り難さは全然分らなかつた。でも今初めて分かつた。「天皇は国民にとって、父、母の存在だった」と。

【見舞う人の違い】

比較すれば分ります。菅首相も行きましたが、散々だった。「何しに来たんだ」と罵声を浴びる。嫌気がさして、そこで帰ろうとしたら、「もう帰るのか」と言われる。何でこんな目に会うのか。それは菅首相のお見舞いが誠の心から出ないからです。嘘の心だからだと言つたのです。嘘と誠の違い。一夜漬けの誠は誠ではない。普段は私利、私欲、野心。もう菅だとか鳩山は、権力欲と名誉欲だけですね。どん底にいる人は

来た人の心が良く分かる。だから見抜かれるんです。「こいつら本物ではない」と。

ところが天皇陛下は違う。陛下にとつて国民は我が子です。赤子です。だから子供の不幸に際し、まさに他人事でなく「我が事」としてお見舞いされる。そのお気持ちがお心が、以心伝心伝わるのです。これは建国当初から貫徹している神武天皇以来の大御心なのです。

【天皇陛下のお祈り】

天皇陛下の最も大事なお勤めはお祈り、お祭り一祭祀、年に20いくつのお祭りが有ります。それ以外の日にもお祈りを欠かされる事はありません。宮中三殿一賢所(天照大御神)・皇靈殿(歴代天皇の御神霊)・神殿(八百万の神々)に頭を垂れお祈りされる。

ふだんは侍従が正装して代拝します。陛下は吹上御所で威儀を正して、侍従がその勤めを終わつて「只今終了いたしました。」と言われるまで、宮中三殿に向かって拝礼をされます。国家の独立・隆昌・国民の幸せ・世界平和を祈られます。国家の中心者がこのような祈りをなさる重要性は、唯物論者、共産党や民主党や社民党には絶対に理解できない。

しかしこの天皇陛下のお祈りこそ、日本国家存立の根本そのものです。

【ストロースの京都講演】

クロード・レヴィ・ストロースというフランスの文化人類学者、20世紀最高の知の巨人と崇められている人が、今から30数年前、京都の国際日本文化研究センターの設立講演会で、梅原猛さんと共に講演をした。その講演が非常に反響を呼びました。

「我々西洋人は神話と歴史の間は深い淵で隔てられています。それに対し日本は神話も歴史もごく身近なもの、伝説の時代と現代の間に、生きた連続性が保たれています。大変な驚きです。今度は西洋が日本に学ぶ番だ。」

西洋にも神話の時代がありました。ギリシヤ、ローマ、ゲルマン、北欧、ケルト、皆神話がありました。ところがその時代と現代とは完全に断絶している。神話の時代は多神教、汎神教です。山も川も草も木もみな神である。神々がいつぱい出てくる。日本だけではなかつた。



【一神教の多神教制圧】

しかしキリスト教がヨーロッパを制圧し、多神教を撲滅した。これが悲劇でした。

「魔女狩り」でどれだけ女性が殺されたか分りますか。600万〜700万人、3000年かけて殺した。魔女とされた人は、ヨーロッパ社会で尊敬されていた女性です。宗教心の篤い、人が病気になるたら治してあげ、人生の悩みも解決して上げる、素晴らしい女性が各地にいたわけです。そういう女性がいる限りキリスト教は広まらない。それで殺した。「こいつは魔女だ」って。

キリスト教は実にひどい事をしました。イエス・キリストの愛の教えとは全然違う。後の宣教師・神学者が道を誤った。白人も容赦なく殺したのだから、有色人種はもの数ではない。劣等人間、人間以下です。植民地で原住民を殺しまくりました。北アメリカには300〜500万のインディアンがいましたが、片っ端から殺した。19世紀末に残ったのは30万。今少し回復して百数十万。それとイスラム教とユダヤ教。これも一神教です。

こういう事を世界一の学者がのたまうたので、日本の学者は皆うるたえ、表面上は「ハハー」と従ったが、この先覚者の言葉が本当に世に受け入れられたのは30年後の今です。

【日本は神話から繋がっている】
日本は天照大御神の神話の時代とその後の歴史が繋がっている。

日教組の教師が「神話は非科学的だ。日本の天皇の先祖の天照大御神なんて言うのは根拠がない。インチキだ。」と小、中、高、大、学、一貫してずっと70年間教え続けてきた。

しかし、日本人の生活は神道神社に根付いています。伊勢神宮の「式年遷宮」が一昨年挙行されました。参拝者は1400万人。若い人が沢山行っている。学校で天照大御神も神道も教えられていないけど、みな行くんです。日本人の奥底の心がそうさせるんですね。

【日本語は完璧な美しい言語】

「優秀で完璧な言語は日本語です。一番分かってないのが文科省。小学生で年齢を下げて、英語を教えている。小学生に英語は要らない。中学生からいい。」

『国家の品格』の藤原正彦先生は「小学生は英語は要らない。まず日本語をしっかりと教えろ。一に国語二に国語三四がなくて、五に算数国語をしっかりと覚えないと英語は物にならない。」と。

世界で一番美しい言語は日本語。デイズニー映画の「アナと雪の女王」の主題歌が25か国語で歌われて、全部インターネットですぐ聞ける。それを聞いた多くの人が「日本語が最高。日本語の響きがめちゃくちゃ美しい、日本語は難しいけど日本語で見たくなった」松たか子さんの歌です。日本語は母音中心。それ以外の言葉は子音中心。

【日本の文化技術】

日本を別にして、世界一の文化芸術大国と威張っていたのはフランス。特に宮殿、城、絵、食物など。ところがミシュランガイドの三つ星から一つ星で東京の食堂はパリの3倍になった。

先端技術。日本のモノ作り技術は世界ダントツ。東北大地震で何が問題になったか？東北の工場が震災でみな停止した。すると世界の工場が悲鳴を上げた。なぜかと言うと、世界の工場は皆日本から部品を買ったものを作る。部品は日本製が最高に優秀です。その部品が日本から来ないからです。

世界を席卷する日本の民衆文化。アニメ、マンガ、カラオケ、ファッション、日本料理、ラーメン、寿司。今のラーメンは明治になって日本人が、特別な味付けした日本製品。

【日本はなぜ人気があるか】

竹田さんの『日本はなぜ世界で一番人気があるか』の本の中の「あなたは日本が好きですか？」の調査で、世界194ヶ国中、「好きは191ヶ国」。嫌いは近隣のならず者三兄弟。北方領土を不法占拠しているロシアも、個人的には日本人が好きです。

【イラク学生の親日の理由】

イラクの学生が竹田さんを見て声を掛けた。「日本が好きだ。」「ソニー？トヨタ？」「違う。明治維新だ。」周りの人に聞くと、みな知っている。これに衝撃を受けた。

その学生は続いて「日露戦争」について語り始めた。イラクでは小国日本があの巨大なロシア帝国に戦いを挑み、世界最強と言われたバルチック艦隊を撃破した。これは狂喜乱舞するほどの喜びであり、その感激は今も若い世代に語り継がれていると

言う。

もう一つは「大東亜戦争」。イラクを含めアメリカに攻め込まれた国は沢山ある。しかしアメリカに攻め込んだのは、後にも先にも日本のみ。結果は残念だったが、その数年後には国際社会に復帰し、東京オリンピック、高度経済成長を経て、経済大国にのし上がった。

日本は負けたけど植民地・属国はみな独立できた。世界194ヶ国のうち、非白人の独立国は百十幾つある。それらは第二次大戦後に、日本が敗戦という大犠牲を払って、数百年にわたる欧米列強の植民地支配を終わらせたから独立できた。なぜこれを学校で教えないのか。

【インドの親日の理由】

先日モディ首相が訪日し、安倍首相と親しく抱擁した映像がありました。インドの独立は昭和22年8月15日。昭和19年の3月から6月までインパール作戦がありました。ある人達は「これは旧日本陸軍の最悪の戦いだ」と言います。

しかし歴史は「多面的」に見ないとダメ。特に戦争の歴史は相手がある。日本の立場だけで見ず、相手の立場、意図も見る。日本は

戦争したくてしたのではない。アメリカは日本が戦うしかない様に引きずり込んだ。連合国がそれぞれどう思っていたかを知らなければならぬ。インドを始め有色人種はどう見ていたか。

「長期的」にも見る。大東亜戦争は、昭和の初めから見るとは、最低限日露戦争の後から見る。もつとと言うとペリーの来航、さらにコロンブスが西インド諸島を征服した1492年から見なくては行けない。

木を見て森を見ずでなく高い所から「大局的」にも見る。今の歴史学者はこの見方ができない。ただ「日本が悪い」と。バカを言うなど言いたい。「相手があるのだ、アメリカはどう思っていたのか。」そちらは何も言わない。

【インパール作戦】

「インパール作戦」は日印連合軍による『対英独立戦争』だった。これを敢然と実行した事が、インドを独立に導いた。それ故、この戦いに立ち上がったチャンドラボースは、ガンジー、ネールを凌ぐインド独立第一の英雄として仰がれている。インドの国会議事堂の記念堂にガン

ジーとネールの写真が麗々しく飾ってあった。しかし昭和54年この二人の上に高々とチャンドラボースの写真が掲げられた。



だからインド独立50周年記念式典に日印親善会長が招かれた時、インドの在郷軍人会長がこういう文章を靖国神社に奉納して欲しいと差し出した。

「我々インド国民軍将兵は、インドを解放するために戦い、インパール、コヒマの戦場に散華した日本軍将兵に対して甚深なる敬意を表します。インド国民はあなた方への恩義を末代まで忘れません。我々はこの勇士たちの霊を慰めご冥福をお祈り申し上げます。」

同じく激戦地の村長は「日本の兵隊さんは飢えの中でも実に勇敢に戦い、村のあちこちで壮烈な戦死をとげていかれた。この勇ましい行動はインド独立のための戦いだった。そのためここに兵隊さんへのお礼と供養のため慰霊塔を建て、独立インドのシンボルとした」と。このインド国民の声は全ての有色人種

の声でもあります。

【インドネシアの親日の理由】

インドネシアはインドを上回る親日国です。インドネシアは独立戦争を4年間やった。それをやり抜く事ができた軍隊は、日本が1〜2年かけて鍛えて作り上げた三万八千名のインドネシア防衛義勇軍です。日本が連合国に降伏する時、武器・弾薬を全て連合国に差し出さずに、半分以上をインドネシア軍に渡した。それは三〜四年間戦える量だった。日本軍の二千名の百戦錬磨の軍人が日本に帰らずに一緒に戦い、千名が亡くなった。だからインドネシアの国民は心の底から日本人を尊敬しているのです。

【フィリピンの親日の理由】

フィリピンは長くスペインやアメリカに植民地にされていた。でも大変な親日国です。昭和19年10月に関行男大尉を指揮官とする第一陣がマバラカットから特攻隊として飛び立った。そこでの慰霊祭が行われたときのフィリピン人の言葉。「今から35年前に私は神風特攻隊の本を讀んで涙が止まらなかつた。こんな勇氣や忠誠心を聞いた事が無かつたからだ。特攻隊はアジア人の

誇りだ。」

「白人は有色人種を見下していた。これに対し、日本は『世界のあらゆる人種が平等であるべきだ』と、戦争に突入して行った。それは白人の横暴に対する、力による最後の抵抗だった。」この時、現地の小学生・中学生・高校生が日の丸の小旗を持って行進しています。

【ポーランドの親日の理由】

イスラム諸国もみな親日です。ヨーロッパもみな親日です。最近『日本人になりたいヨーロッパ人』という本が出ました。

ヨーロッパで随一の親日国はポーランドです。第一次大戦の時、シベリアで両親を失った戦争孤児を助けて欲しいと、欧米キリスト教国に依頼したが全部断られた。最後に遠い日本にお願いしたら日本政府は受諾し、日本赤十字社が中心となり765人の孤児を救った。飢えに苦しみ、半病人でガリガリに痩せていた子供たちを、完全な健康体に戻し、ポーランドに帰してあげた。ポーランド人は皆涙を流し、熱烈な日本びいきになった。

り、日出る国、桜の花の国に憧れ、『来世は日本人に生まれたい。日本大好き。』と書いている。

ポーランドで一番の大学はワルシャワ大学。その競争率の最高は日本語学科。30倍。ワルシャワで日本語を勉強したって、外務省の日本課にでも行かない限り飯の種にはならない。でも日本を知りたい、学びたいと思っっている。

【米国の日本への徹底去勢実施】

こういう天皇国日本に世界的な救世主的使命があるのは当然です。でも多くの日本人はそれに気が付いてはいない。

その一番大きな原因は戦争に敗れて、アメリカに約7年間徹底した日本弱体化の占領統治を受けたからだ。憲法を変え、軍勢力も奪う、東京裁判で侵略国の烙印を押す、歴史・修身・地理の教育を禁止する。日本人を立ち上げられない様にするため、これを徹底してやった。

アメリカは原爆を落とす約30万殺した。東京大空襲で10万殺した。これは最大の戦争犯罪です。日本人は人間以下と見てこれをやった。彼らは人種差別の塊だ。外人ならこんな事をやったら必ず復讐する。アメリカは日本人は絶対俺たちを恨んでいと思うた。

だから徹底的にそういう気持ちを持たせない様にとことん日本人を『去勢』したので。

一応7年弱で占領時代は終わった。しかしその後の日本の政治は大きな欠陥があった。飯が食えなかったから飯が食える様に、全力挙げて経済復興に頑張った。その結果世界第二の経済

大国になった。しかし経済至上主義に陥ってしまった。江戸時代の板倉藩を再建した山田方谷は「財（経済）に傾くと文（精神）すたる。」と言っている。

倫理道徳の根本は生命尊重です。神様から授かった生命を大切にすること。肝腎かなめの倫理道徳の教育を怠ってきた。世界は国々と比べたら日本は傑出しています。だからと言って、100点満点ではないと言います。その結果、大量墮胎という重大な事がこれまで解決されずに来てしまった。そこで皆様が尊い努力をされている訳であります。

【明治維新】

最後に明治維新について。今よりもっと大きな国難でした、その時に吉田松陰、西郷隆盛を始めとする志士たちが立ち上がりました。その原動力はどこに

あったか。それは「天皇・皇室を戴く日本国体の尊厳に対する誇りと自覚」。日本ほど比類なき尊い国はない。その日本を欧米列強の植民地属国にしてはならない。」と、志士達は天皇国日本を守ろうとした。

【天壤無窮の神勅を仰ぐ】

吉田松陰の最後の一年間は「日本がそのままで行けば滅ぶ」という絶望のどん底です。しかしその絶望感の中で最後に思い至ったのは

「天照御大御神の天壤無窮の神勅に、『宝祚の隆えまさまむこと、天壤と窮り無かるべし』と書いてある。神勅に相違なければ日本は滅びず。『豊葦原の五百秋の瑞穂の国は世々我が子孫の君たるべき国なり』という神勅によって万世一系の天皇と瑞穂の国が始まった。この神勅が間違いないものであるならば、日本は絶対滅びない。『日本滅びざれば、正気、重ねて發生の時は必ずあるなり。』必ず大和魂が発揮されて立ち上がる人が出てくる。」と、松下村塾の弟子たちに期待したので。

神勅を信じるといふ事は、神様の御心にお任せする事、それが本当の誠です。松陰はこの誠

を一番大切にした。

「^{すあかみ}皇神の誓おきたる国なれば正しき道のいかで絶へべき」

松陰が最後に立ち上がらんとした時、久坂玄瑞、高杉晋作は反対した。しかし松陰死後、「私たちは先生の尊皇攘夷、尊皇討幕の志を受け継ぎ、幕府を倒して、王政復古を成就しましたと、あの世で先生に言える自分でありたい。」と、久坂、高杉らは真つしぐらに突き進みました。

高杉などは「狂」という字をよく使いました。「この未曾有の国難を打開し、欧米列強の侵略を阻止するために、『狂』の心を振るい起す。」と言っています。生やさしい心持でこの危機を払い退ける事は到底出来ない。「狂」という大和魂の正気を奮い起こして、生命を捧げて戦い抜きました。

明治維新は奇跡中の奇跡、近代日本の最高意義ある歴史です。



△

「いのちへ」より

にしだひとみさん

「愛の人」

わたしが元気をなくした時
あなたは駆け寄り
頬をこすりつけ
歌うようなやさしい声を出す

わたしがニコニコ楽しい時
あなたは瞳を輝かせ
駆けまわって
からだいっぱい わらう

愛されているほうは
護られているほうは
わたしなのかもしれない



総会記念研修会 「こ挨拶」

平成27年5月24日

古賀俊昭 先生（都議）

文責 野田滋美

今回、岡田先生の講話を直にお聞きでき本当に良かった。私の感ずる所を申し上げます。アメリカは、大軍と謀略でハワイやテキサスを併合し、フィリピンを植民地化しました。

よく議員で尊敬する人として「ケネディ」と言う人がいます。私は「〇〇村のケネディだ」とか。しかしケネディは有色人種を滅ぼすために、沖縄の米軍基地で「いもち病」を研究させました。「有色人種は米を食わなければ自然消滅するだろう」と。もつと遡れば、「リンカーン」。彼も確かに奴隷解放の英雄とされていますが、彼は「インディア」殺戮命令を出しています。「殺してしまえ」と。白人はオーストラリアで先住民のアボリジニに対し、彼ら人間と認めていませんから、狩の対象にして「今日は何匹殺した」という報告書を残しています。白人優越の人種観それがキリスト教文明の根源に流れている訳です。このオリンピック記念青少年センターの入りに、「子ども」と大きく書いてありました。「ども」がひらがなの混ぜ書きです。国語破壊の最たるものです。子供の「ども」のまぜ書きは共産党の女性活動家・羽仁説子が始めた運動で、日本中に拡がってしまいました。子供の「供」の漢字が、子供は大人の供えものではない、従属物ではないという、変な理屈をこねて国語学的に何も問

題がないにも拘わらず、「供」を漢字でなく平仮名に変えるのが、日本中に蔓延しています。

私はこの事を都議会でも何回も取り上げまして、東京都は漢字表記に戻しました。東京都教育委員会は国語学者とか、国立国語研究所に確かめて、「やはり古賀議員の言っている事は正しい」という事で、「子供」は漢字を書くようになりました。

ぜひ皆様も、身近な子供会、保育園、幼稚園、小学校で「子供」の「ども」を平仮名で書いている所があれば、是正させる運動をして下されば有り難く思います。

そういう国語の乱れという事で、私は小学校から英語を教えるのは大反対しています。英語は好きな人と必要な人がやれば良いので、我々は英語を使わなくても日常の勉強ができます。16年前ですが、ノーベル物理学賞をもらった益川さんは英会話には全然できませんでした。外国に行ったこともありません。しかし、日本では、世界文学全集は日本語で読めますし、自然科学一理科系も全部日本語で勉強していればノーベル物理学賞を貰える国なのです。小学校で英語を教えるなんて必要ない。

日本人は元号をちゃんと使っていくべきです。何も法的根拠のないキリスト教暦ですぐ、二千何年、東京オリンピック二千二十年とか言います。私は必ず平成三十二年と言っています。天皇陛下のお名前が元号です。元号を大切に使うべきだと思います。伝統を破壊してはなりません。

生命の問題でも、渋谷区で4月1日から男性同志、女性同志での同性婚を合法化するための先行条例が実施される事になりました。日本はどんどん崩壊されてきています。

「社会国家の基本的単位である家庭をどう崩すか」と言う事で、革命勢力は、武器や銃口での革命ではなく、いわゆる「白い共産主義」によって共産化を図ろうとしています。こういう条例はその一つの典型だと思います。

しかし、本日先生から、吉田松陰の「天照大神は『天壤無窮の神勅』により日本の国は永遠に栄える事を誓って下さっているから絶対に滅びる事はない」と言う明るい話しをお聞きし、それを信じて、これからも皆さんと共に歩んで行きたいと思えます。(東京都議会議員) △

「ありがとうの音色を響かせて」

高橋「ずえさん

こんな暑い日でも

こんな暑い日でも

微笑みかけられると

微笑み返す

こんな暑い日でも

風が運ぶ街の香りに

昔旅した異国の街角を思い出す

こんな暑い日だからこそ

冷たい水が喉を潤すときの幸せ

日本を想う後然のエッセイ

今啓パール 今井啓介社長

■日本会議は日本の歴史や伝統を守ることを目的に、昭和49年誕生。会員3万5千人が安倍総理の後ろ盾となっている。

皇室典範改悪の白紙化、靖國参拜、集団的自衛権の行使容認、道徳の教科化等推進。着々と戦後の首相が誰も出来なかった反省のみの国会から脱却する決意と行動の準備から、日本の自立に必要な態勢を着々と固めている。どこまでも安倍さんを応援します。

例外ではない。我が方は核を含めたあらゆる攻撃手段を備えている。」北朝鮮 労働新報 平成27年3月17日

■江戸の日本人庶民が貧しくても表情が豊かだった。喧嘩はほとんど見かけず。

『外国人の日本人評』仕事の依頼の金のみ。それ以上の心づけ(チップ)全く受け取らず。お蔭さまの姿勢の人達の譲り合いの心。『江戸仕草』右肩を控える、敵意無し。傘かけ狭き道の譲り合い。忘れ物、財布まで戻って来る深切心。



■「憲法守って国滅ぶ」今の日本だ。

憲法前文

日本国民は平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して我らの安全と生存を保持しようとした。

近隣が平和を愛する諸国民と考えるだろうか。

「いつでも戦争ができなければならず、その戦争は必ず勝たなければならぬ」習近平 平成26年12月10日

「必要な対象に向けて自衛的な軍事行動をとる。日本も決して

■18世紀の日本の識字率は世界最高を誇っていた。幕末は吉田松陰の「数学」と「世界地理」と「論語」の卓越した教育のお蔭で、明治維新の大業を成した人物が排出。木戸孝允は総理、法務大臣を断り文部大臣を撰び、「国家の根幹は教育にあり」とした。

15世紀、太田道灌は鷹狩りで、糞を求めて年端もゆかぬ少女に山吹を渡され恥を知り学んだ。

「七重八重花は咲けども山吹の実の(養)一つだに無きぞ悲しき」日本人の教育の高さ。 ◇

「甦れ 日本の心」

山口文弘 理事

「終戦の御聖断」

御聖断の模様を、迫水久常氏は、『終戦の真相』の中でこう語っております。(一部省略)

「昭和二十年八月九日夜十一時から御前会議が開かれた。列席者は鈴木総理、東郷外相、阿南陸相、米内海相、陸軍参謀総長、海軍軍令部総長、平沼枢密院議長、七名の正規の構成員と内閣書記官長の迫水外三名の陪席員で十一名であった。

外相はポツダム宣言を受諾して戦争を終えるべしと述べ、阿南陸相は反対意見を烈々と述べ、賛否三対三同数となり、鈴木総理は静かに陛下の前に進んで『誠に懼れ多いこととございしますが、ここに天皇陛下の御思召しをお伺いして、それによって私共の意見をまとめたと思います。』と述べられました。

陛下は先ず『それなら自分の意見を言おう』と仰せられ『自分の意見は外務大臣に同意である。』その一瞬、静寂と申してこれ以上の静寂はございませぬ。次の瞬間全員が号泣したのであります。陛下もお泣きになった

のであります。

陛下は『このような状態で本土決戦に突入したらどうなるか。自分は非常に心配である。あるいは日本民族は皆死んでしまわなければならないのではなからうかと思う。そうなたらどうしてこの日本という国を子孫に伝える事が出来るか。』

自分の任務は祖先から受けついでこの日本を子孫に伝えることである。今日となつては、一人でも多くの日本人に生き残つて貰つて、その人達が将来再び立ち上つて貰う外に、この日本を子孫に伝える方法はないと思う。それにこのまま戦いを続けることは世界人類にとつても不幸なことである。自分は明治天皇の三国干渉の時のお心持も考え、自分のことはどうなつても構わない。堪え難きこと、忍び難きことであるが、この戦争をやめる決心をした次第である。』陛下のお言葉は更に続きました。要約すると

『国民がよく今日まで戦つたこと、軍人の忠勇であつたこと、戦死者、戦傷者に対するお心持また遺族の事、引揚者に対して、又戦災に遭つた人々に対して、御仁慈の御言葉』があり、一同新たに号泣したのであります。』

一 昭和天皇の御製 一

身はいかにならともいくさどめけり
ただ倒れゆく民をおもひて
爆撃にたふれる民の上をおもい
いくさとめけり身はいかならむとも

活動報告

○美しい日本の憲法をつくる国民の会の「憲法改正を求める100万人署名」に賛同し、署名を推進しています。安倍首相在任中の憲法改正を実現すべく、署名のご協力をお願いします。

○今、安保法制が議論されています。

会員による「和歌」の紹介

「御歌会始『本』の御製と御歌を拝して」 岩田幸枝

御手植えの稻刈り給ふ大御歌 その夕暮れの御姿良し
来し方の文の林にいこひしを 詠み給ひたる御歌みに沁む
本好む少女とわれをほめましき 一生照らせる母の言の葉

「須磨、三木、姫路、赤穂を旅して」 野田滋美

須磨の地に平氏の守る安徳帝 内裏の跡の祠清しき
内裏跡地元の人の心にて 手厚く清く祀らるは嬉し
半兵衛の眠りしところ温かく その人柄の今も輝く
夕着きて雲にそびゆる姫路城 白亜の威容西の守りか
討入りの四十七像忠義燃え 神社参道凛々しくも立つ

「行幸啓」那須戦争博物館」 野田富美子

・らい病の患者の悲しみ拭かれて 至上の幸と言われしめられる
・皆で行く那須の戦争博物館 一万五千の愛国の文ぞ
・兵器見て命がけで国守る 挺身の様に釘付けとなる
・先輩の心の気高さ胸を打ち 明治憲法復元の切望胸に湧きくる



す。民主党はじめ左翼は安保反対の大騒ぎをしています。法案が成立して一番困るのは支那です。後ろに支那、朝鮮の金が反対の陣営にどれだけ動いているか、知れたものではありません。法案成立に応援しましょう。

○「母体保護法改正を求める署名」を始めたています。多数のFAXが入っています。感謝致します。今後とも宜しくお願い致します。

○靖国神社での「母体保護法改正推進チラシ」を配布を今年も実施します。ご参加下さい。
8月15日9時より
靖国神社大鳥居歩道手前集合

今後の行事予定

・一泊研修会
日時 11月24日～25日
場所 代々木青少年センター
センター棟409
講師 未定

追ってご案内致します。